

6月28日執行のうきは市長選挙において、高木典雄(たかき・のりお)市長が無投票当選となりました。3期目の市政の方針やまちづくり施策について、ご紹介します。

3期目（令和2年7月15日～令和6年7月14日） の就任あいさつ

先の市長選挙におきまして、無投票当選により3期目の市政の舵取りを務めさせていただくことになり、その意義や責任の重大さを痛感しており身の引き締まる思いであります。

平成24年7月15日に、「元気と幸せを！つなごう“うきは”」をスローガンに市長に就任させていただきました。

市長就任時、我が国は、少子高齢化・人口減少とともに、経済が低迷し、さらにグローバル化等により、先の見えない閉塞感にとらわれている現状であったことから、このうきはの地から時代を先取りした「元気と幸せ」を感じられるうきは市型地域社会づくりを目指し、閉塞感を打破する気概で、うきは市の個性が評価されるような地域社会を創造したいとの強い思いでした。そのために、うきは市固有の自然・風土・文化・歴史等の特色を活かし、また、市民の皆さまと共に知恵と工夫を凝らして、他地域とは一味もふた味も違う存在感のある「うきはブランド」の構築に努めてきたところであります。

2期目の市政運営にあたっては、うきは市の人口減少に歯止めをかけ、さらなる飛躍を図るため、福岡県下の自治体では、最初に策定した、地方創生の地方版総合戦略、「うきは市ルネッサンス戦略」、さらには「第二次うきは市総合計画」、「うきは市教育大綱」等に位置づけられた事業を通じて、活力と魅力あるうきは市の形成に向け、様々な取組みを進めてきたところです。

しかしながら、今日、新型コロナウイルス感染症対策、自然災害などに対する防災対策、若年層の人口減少対策、地域経済の活性化対策、デジタル化対策、縮小社会に対応した身の丈にあった行財政運営等、まだまだ大きな課題が山積しております。

3期目にあたっては、これらの課題を最優先課題として位置付け、市民の皆様や企業をはじめとした各種団体の皆様と共に、その問題の所在を共有して、自律的かつ多様な主体との協働を図りながら、課題の解決に向けて市政を進めてまいります。

また、一方で、活力と魅力あるまちづくりを進めるにあたっては、うきは市の地域としての価値をどのようにして創造して、伸ばしていくかが大きなポイントだと考えております。

地域には、そこにある「もの」（地域資源）と、そこに住んでいる「ひと」しかないものであり、そこをどうブラッシュアップしていくかが課題であります。そして、今後のまちづくりは、地域にあるものを生かして自立していく、「内発的発展」「地域力創造」へと変わらなければならないと、強く思っているところです。

結びに、うきは市のさらなる発展のため、私に与えられた4年間の任期を粉骨砕身全力を傾注して参る所存ですので、市民の皆様におかれましては、なお一層の御理解と御協力を心からお願い申し上げます。3期目の就任に当たっての挨拶といたします。



3期目初日の7月15日、初登庁後、市長就任式で職員に訓示を行いました。